



2018.8.29  
 NO.622号  
 全港湾関西地方  
 阪神支部  
 大阪市港区築港  
 1-12-27  
 ☎06-6574-8424  
 ☎078-303-0800  
 全港湾は一人  
 でも入れます

## 18春闘・一時金総括会議を開催

# 「絆」を深め、組織の強化と 拡大で労働者の地位確立を



7月23日に拡大分会代表者会議（春闘・冬季一時金総括）が大阪センターにて行われました。

はじめに久保田書記次長より、「大阪北部地震や西日本豪雨の最優先すべき被災者支援よりも、カジノ実施法案の強行を推し進めた安倍政権に対し、カジノやIRでなく災害時の備えに税金を使うべきであり、国民の反対や疑問の声を無視した強行は許せないと強く批判しました。また、韓国の大幅な最低賃金の見直しにも触れ、日本も国民生活

主導、労働者環境の改善優先の政策に変えるべきです。そして、こういつ時こそ我われ労働組合が労働者の先頭に立つてたたかわなければなりません」と開会の挨拶がありました。

次に畠山委員長より情勢報告があり、ハマキョウレックス事件、長澤運輸事件の訴訟により契約社員、雇用延長者の労働条件が問題になり、各企業見直しが必要になることについて話され、続いて港湾の中長期政策を資料を用いながら解説されました。

その後、河野書記長から18春闘のたたかいの経過と特徴点についての報告がありました。

上組分会のたたかいでは、昨年合意した労使協定に基づき、労働時間の改正

が実施され、5大港限定ではありませんが、全職種対象に拘束時間8時間、所定労働時間が7時間に改定されました。また法定内時間外手当と法定外時間外手当のいずれも25%割増しを支払い、時間外算定基礎分母は150に短縮されました。それに伴い変形労働時間制度も解消されました。

日興サービス分会、大日産業分会のたたかいでは、昨年からの引き続き、日検を相手取り団体交渉拒否の不当労働行為救済申し立てをしてたたかっています。大日産業や日興サービスでは、検数業務に現在も従事しており、請負業務から派遣に秘密裏に切り替えた後でも、就労実態は変わっていません。

大阪平岩運輸分会のたたかいでは、改善基準告示の限度時間を上回る長時間労働や、歩合給が設定されているため、実労働時間の時間外手当が支払われていない事に対し、団体交渉で未払賃金の支払いと賃金改定と労働条件改善の確認を行い実現させました。

たたかいの総括として、今春闘ではわずかにベアを上乗せした企業はありましたが、多くは賃金水準を維持するのが精一杯ではなかったでしょうか。可処分所得が減少するなか、ベアの要求は当然であり、私たち

が実施され、5大港限定ではありませんが、全職種対象に拘束時間8時間、所定労働時間が7時間に改定されました。また法定内時間外手当と法定外時間外手当のいずれも25%割増しを支払い、時間外算定基礎分母は150に短縮されました。それに伴い変形労働時間制度も解消されました。



組織強化拡大へ団結ガンバロー

は労働者とその家族が人間らしく健康で文化的な生活が営める賃金確立を目指すためにたたかいを進めてきました。

労働組合は文化的な運動で仲間同士の「絆」を深め、学習・教育の中で労働者として地位を確立することが責務です。人として生きるため、国の悪政に立ち向かうため、更なる組織拡大を強化しなければなりません。



母親から手紙が届く。「いいかげんゲイとやらも漫画とやらもやめて」田舎に帰ってきたら、

と。NHK連続テレビ小説「半分、青い。」である「お母さん、漫画家はやめられても、ゲイはやめられないんだよ。ゲイは職業じゃないからね」。男性の同性愛者（ゲイ）である誠が切なくつぶやいたシーンが心に残っている。ゲイをふくむ性的少数者（LGBT）は職業でなく、まして趣味でもない。当たり前の理解が今は広がって、誰もが生きやすい社会を多くの人々が願う時代となった。それなのに、足を引く張る国会議員がいる。自民党の谷川とむ衆院議員がインターネット番組に出て、「多様性を認めないわけではな

い」としたうえで、同性愛は「趣味みたいなもの」と述べた。同僚の杉田水脈（みお）衆院議員には驚く。同性カップルは「子どもをつくらない」、つまり「生産性」がない」と月刊誌に寄稿した。「生産性」とはなんだろうか。工場で子をつくるロボット人間を想起させて怖い他人の胸の痛みを思いがいたら

ない政治家。怒り、というよりも、悲しくて、あわれみさえ誘う。

### 「阪神支部第55回定期大会」

日程：10月6日(土)、7日(日)  
 13時00分受付 13時30分開始  
 場所：神戸ホテルフルーツフラワー

# 地本青年対策部会模擬交渉学習会 実践的な交渉力を 身につけよう

## 身につけよう

7月21日、大阪港湾労働者福祉センターにおいて関西地本執行委員6名、地本青対部員11名の参加で模擬交渉学習会が行われました。坂本地本執行委員の開会挨拶では「組合員数減少に歯止めをかけ、若い層に魅力的な組合となるよう日々の活動を行ってもらいたい。今回の学習会は青年部が立案・企画・運営によって開催の運びとなったが、今後の活動につなげて活かしていくためにも積極的に自身のものにしてもらいたい」と話されました。地本執行委員が企業側、地本青対部が組合側となり、



企業側と組合側に分かれて模擬交渉

港湾関連会社（現業職）と一般貨物運送事業（海上コンテナ陸上輸送）を想定した交渉となりました。設定ではどちらの企業も業績は大変厳しく、18春闘としてこれまで3回の分会交渉が行われ、定昇1000円は確保しているものの、分会付帯要求は前進がない状況から妥結を念頭において最終局面から始まるというものでした。

企業側は代表取締役社長、役員、労務担当、弁護士。組合側は分会長、副分会長、書記長、執行委員と配役を決めて交渉に臨みましたが、組合側は実際の交渉経験者は各チームとも半数以下でした。それだけに厳しい内容になると予想しましたが、経験がないゆえ意義があります。

組合側打ち合わせでは、どちらのチームもやはり前進の見られない付帯要求を中心に、その中でもより通したいものを受協点とすることが確認されましたが、経験者が少ないことから受身な印象がありました。港湾チームの交渉から始まり、組合は付帯要求の前進がなければ妥結は難しいとし、非正規の正社員化や

技能手当の増額を迫りますが、企業側は「正社員化ではなく無期転換で法的には問題がない。限られた原資を技能手当ではなく技能研修の充実に使いたい」と巧みにかわします。その後も組合の要求に「経営状況が上向けば考えていく」と回答し平行線となり、一旦休憩に入り再度妥協点を見出すための打ち合わせを行いました。再開後、労務担当から「正社員化の実行（組合から推挙）、65歳定年延長は2024年3月までに実施」を出し、さらに企業弁護士から「定昇1000円ではなく、基準外で3000円。65歳定年延長時は中途退職の保証なし。技能手当は上げるが、事故を起した者にも責任負担を課し、事故の多い者には手当を出さないなど措置を行う。役員と事務員は給料3割カット。役員を1名減らして黒字化を目指す」など合理化案も示され、さらに「経理をアウトソーシング（外注）するのでチェックオフは組合で行ってほしい」といった条件が出されました。一見増額のように思わせて定昇の消滅、技能手当は増えますが、事故時の負担。外注による職域の減少。チェックオフの目に見える金銭や事務負担など組合崩しの農にどこまで気づけるかという回答でした

が、組合はアウトソーシングは見直してほしいといつたものの、概ね受け入れての妥結となりました。運送チームの交渉では、前の交渉を見ていたこともあり、一層の緊張感をもって始まりました。メンバーの全員参加や目に見える評価として手当の増額、人員補充など付帯要求の前進を目指しましたが、企業はコストがかかることから全て現行通りの回答を行いました。組合はシャーシ本数が適正であるかなど攻めますが、企業もつまかくわします。平行線のまま休憩に入り打ち合わせ後再開されました。

企業弁護士から「定昇1000円+5000円出すので、付帯要求は見送ってほしい」と回答します。そして「業績不振から1か月以内に他の運送会社の子会社にしてグループ企業傘下に入る。これができなければ倒産もあり得る。倒産となれば退職金は国が保障するが（実は動続5年程度の設定なので低額）、賃金保証もしかねる。但し、子会社化すれば雇用の確保などは私（弁護士）が責任をもつて請け合つ」といった難題が放り込まれます。さらには「こちらも日頃組合員の起す問題などに目をつぶっているところもあるので、今後経営には口を出さないでほしい」などと発言しました。組合は子会社化したときの労働条件を聞きますが、弁護士がグループの他の子会社と同程度になると答え、従業員の削減はないとし、組合は弁護士を信じこれを受け入れ妥結に至ります。弁護士が責任を取ったなどという話は聞いたことがありません。結果これにより、分会は消滅となるでしょう。

交渉経験が乏しい青年層 執行委員 道下 拓也

## 現業部会 視察学習会 モダンから最新機能 まで港湾の歴史を体感

印象に残っているのが摩耶埠頭倉庫の建屋の内部は歴史もあり、軽荷役用の天井クレーンが倉庫内に残っており当時は最新型の設備であったようです。ほかにも大型のスポットクーラーも設置されており暑さ対策がされています。今回、視察に協力頂いた方々に感謝申し上げます。より良い学習会を企画立案し、今後の運動に携わっていききたいと思います。



KICTについて説明を受ける

7月30日、執行部6名、分会10名が結集し、年に1度の現業部会視察学習会を開催しました。午前は神戸国際コンテナターミナル（KICT）にて、商船港運の案内担当の吉田氏から映像とパンフレットを用いた説明を受けま

日本ですべて水深15メートルを有するターミナルとして開業し、平成23年5月から現在の水深16メートルのPC-16/17において最新鋭のコンピュータシステム「CTS21」を駆使し、荷役機器端末による作業の自動化を進めるなど、先進的なシステムが構築されています。搬入受付時間やリードタイムの短縮に特化していることが解りました。その後、管理棟の

執行委員 中川原 博



PC-16/17ターミナル見学

### 2018西日本四港交流会議

## 互いの現状を共有して、 業界の未来に繋ぐ

7月5・6日、神戸フルーツラワーにおいて西日本四港交流会議がおこなわれました。

西澤事務局次長の開会の挨拶に始まり、今回の主催港となった神戸港湾労働組合協議会の吉岡議長より、「運送業界ではトラックドライバーの不足が大きな課題とされているが、港湾にも労働者不足の波が押し寄せ、早急な対策の確立が求められている。そして、安全・安心な環境を構築し、魅力ある港湾産業にしなければならぬ。」と挨拶されました。

この西日本から新しい風を起していきたい」と力強く述べられ、「2日間という限られた時間ではありますが有意義な交流会にしたい」と挨拶されました。

続いて「港湾運送事業法について」と題して神戸運輸管理本部貨物港運課の稲垣課長より講演を受けました。内容は、港湾運送事業の目的や定義、またその行為・事業からなる荷役のあり方など多岐にわたるものでした。

2日目は、PCR16(KICT)を見学する予定でしたが、悪天候のため中止となり、そのまま解散となりました。

次は、四港の取り組みと現状を各港から提出された資料を参考に報告されました。

質疑では港湾倉庫についての労働者のあり方やコンテナの受渡し場所など各セクションが抱える問題についての発言がされましたが、グレイゾーンがあるとの答弁にとどまりました。

その後、休憩をはさみ全国港湾 玉田書記長より18春闘を振り返って前進した項目・継続になっている項目など具体的な報告がされました。

互いの現状を共有して、それぞれの未来に繋ぐ交流会議となり有意義な中身となりました。参加された組合員の方々は、大変お疲れ様でした。

副委員長 松本 栄一

誤魔化さないこと、逃げないこと、裏切らないことを実践すべきは日検

日検抗議行動

これまで指定事業体の労働者を無条件で日検本体へ移籍させるための抗議行動を継続的に行ってきましたが、活発な組合運動に邁進する名古屋支部・西脇書記長への報復として一方的な賃金カットを強行した日検に対して、8月2日に阪神支部から8名、名古屋支部から10名、総勢18名で抗議行動を行いました。

また、日検名古屋支部に

40度以上を初めて記録し、抗議行動中の気温も45度を越えた猛暑の中での熱い抗議行動となりました。

早朝から名古屋港駅頭での宣伝ビラ行動では、出勤途中の通行人のティッシュ付きビラの受け取りも良くと認識を高めました。

また、日検名古屋支部に

さらには日検名古屋支部では昨年6月からの一年間で10名以上が退職しており、人手不足による過重労働も増える一方で、苦しい台所事情となつています。まさしく関口会長は、自らが先頭に立ち指定事業体労働者の労働環境是正に向け行わなければならないことを言葉にしています。

今年の夏は世界中が異例の暑さで、異常気象や豪雨による大規模災害なども近年問題になってきました。それらと環境破壊は密接にあるとも言われています。

環境破壊の一つ、プラスチックごみによる海洋汚染が大きな問題になっていいます。欧州各国を中心に使い捨てのプラスチック製品規制に向けた動きも強まっています。

プラスチックのストローが鼻に詰まったウミガメが救出される様子を撮った動画が、ネットで大きく拡散

次いでいます。魚やエビ・カニなど甲殻類、二枚貝などを食べる生物にも影響が及びます。水鳥やクジラなどがより大きなプラスチックを摂食することも起きています。

も大きな議題の一つとなり、「海洋プラスチック憲章」がまとめられ、英・仏・独・伊とカナダが署名しました。海のプラスチックを減らすために、2030年までにすべてのプラスチックを

## 主張

### プラスチックストローを 使わないだけで・・・

プラスチックのストローは問題の一部にすぎません。プラスチックの最大の問題は、海洋生物が餌と区別できずに取り込むことです。生物の体内から小さなプラスチックが検出されることが相

国連環境計画は6月、プラスチックの廃棄量が年間約3億トンに及ぶという推計を発表しました。そのうち800万トン以上が海に流出しているといわれます。

再利用可能か、リサイクル可能なものにする、不必要な使い捨てプラスチックを大幅削減し代替品も環境への影響を考慮する、などを盛り込みますが、日本と米国は署名を見送りました。中川

先日の通常国会で、マイクプラスチックの使用を抑えるように企業に努力義務を課すなどした改正・海岸漂着物処理推進法が全会一致で可決・成立しました。



日検名古屋支部前での抗議行動

政府が積極的に取り組むとともに、企業や業界に社会的責任を果たさせていくことが重要となつてい

名古屋支部書記長 西脇 敬

今回の行動は、日本港運協会に対して港湾の秩序を乱す日検に対して厳しく指導してもらいたいという願いが込められています。

日検が全港灣阪神支部と名古屋支部を嫌悪して、闘争が長引けば長引くほど現場は疲弊し港湾産業の信頼と実績が損なわれます。

名古屋支部書記長 西脇 敬

# 活発な意見交換で実りある学習会

## 第22回阪神支部労職対学習交流会

7月14日、神戸市勤労会館にて第22回阪神支部労職対学習交流会が24分会34名と労職対部会員9名の参加で行われました。

はじめに、入江委員による開会の挨拶がありました。その後、記念講演で滋賀県労連の清水講師による「働き方改革関連法」を考えるテーマで、専門的立場から講演をして頂きました。内容については、組合側（働く者）の立場からの

話を頂き大変分かりやすかったです。

講演終了後は乗務職、事務職、現業職の3つの分科会に分かれて、乗務職ではトラック4メーカー懇談会報告と意見集約、港湾労災防止協会との懇談の報告と意見集約が行われました。事務職では座り過ぎによる問題について学習と話し合いが行われました。

私は現業職の分科会に参加しました。熱中症対策については各分会、様々な対策をとっていて、自分の職場でも取り入れたいことが多々ありました。職場の自然災害の対策についても台風など予測可能な災害についてはある程度の対策ができるが、地震など予測できない災害について、会社側ときちんと話をしていかなければいけないと思いま

した。最後に3つの分科会からの報告があり、どの分科会も活発な意見交換ができ、実りのある学習会であったと感じました。

参加された皆さんのアンケートを参考に今後の安全衛生活動や学習会に役立ててまいります。

執行委員 中嶋 淳允



分科会での意見交換

## アムゴのつかみ取りで

## 猛暑を忘れるひと時

8月4日開催ということもあり、みなと神戸の花火大会や大阪よどがわの花火大会と重なり、昨年の参加人数とまではいきませんが、

8月4日開催ということもあり、みなと神戸の花火大会や大阪よどがわの花火大会と重なり、昨年の参加人数とまではいきませんが、

当日は天候にも恵まれ、絶好のバスツアー日和となり参加した子供たちも和気あいあいと楽しんでいました。集合時間は少し早かったのですが、予定通りの到着でアムゴのつかみ取りを楽しみました。山間部でもかなり気温が上がりましたが、川の水は冷たく、子供たち

当日は天候にも恵まれ、絶好のバスツアー日和となり参加した子供たちも和気あいあいと楽しんでいました。集合時間は少し早かったのですが、予定通りの到着でアムゴのつかみ取りを楽しみました。山間部でもかなり気温が上がりましたが、川の水は冷たく、子供たち

## 分かるかな？

# 懸賞クイズ



### 【問題】

なぞなぞです

きゅうりの長さは何センチ？

621号の回答 「兆」

目は視覚 4、鼻は嗅覚 9  
口は味覚 3、耳は聴覚 兆

13名の方から応募があり、全員が正解でした。抽選の結果、以下5名の方に図書カードを進呈します。

松井謙一（三林）、中山悠佑（大洋）、長野雄二（大運）、深田裕子、西壘友美（ジャパンEXP）

622号の締め切り日は9月14日（金）です。ふるってご応募ください。

## カマヤん キャリーバッグ ありむら港

西成区太子交差点の夕方  
観光客だけでなく最近では仕事帰りの  
労働者たちもキャリーバッグが目につく



たくさんとれました

はアムゴつかみを楽しみ大人は涼を求める方が優先したようにも思えました。その後、バーベキューでは獲りたてのアムゴがメインディッシュになり、皆さん各々に類張る姿が見受けられました。子供たちも自分で捕まえた魚をおいしく食べていたと思います。

食事後は自由時間となり、川遊びを中心に猛暑を忘れるひと時を味わう事が出来ました。帰りは渋滞に巻き込まれる事もなく無事に帰路に着くことが出来ました。

バスも例年通りの運転手さんとガイドさんで安心して任せられる事が出来ました。また、青年部役員については毎回、企画、引率をして頂きありがとうございました。また、来年も参加したいと思っております。



日本包装運輸分会

宿里 和也